

基本設計報告書（概要）

# 刈谷市庁舎建設工事



刈 谷 市  
平成 19 年 3 月

## 1.全体コンセプト

### 1.全体コンセプト

#### ～市民にわかりやすく親しまれる庁舎とします～

##### (1) 誰にもわかりやすく、ふれあいを育む庁舎

- ・窓口ゾーン、執務室ゾーン、執行部ゾーン、議会ゾーンなど、効率的で誰にもわかりやすい構成とします。
- ・南棟と北棟の間に2層吹き抜けのコミュニケーションスペース「スキップ・テラス」を設け、市民の方々や職員が使いやすい開放的なふれあい空間を形成します。
- ・庁舎南側には利用しやすい平面駐車場(107台)、庁舎北側には庁舎へのアクセスの良い立体駐車場(83台)を確保し、車による来庁者の利便性を考慮した計画とします。
- ・多目的トイレや、段差の無い床、わかりやすいサイン計画など、誰にもやさしくバリアフリーに配慮した庁舎にします。

##### (2) 雁行配置による威圧感を与えない、やさしいたたずまいの庁舎

- ・南棟と北棟を雁行配置させ、建物の大きさを感じさせない、やさしいたたずまいの庁舎とします。
- ・庁舎の南側に配置した平面駐車場には効率よく緑を配置し、芦野公園まで緑がつながる計画とします。
- ・低層の立体駐車場を庁舎北側に設け、庁舎を北側道路からセットバックさせることで、北側民地に配慮した計画とします。





### (3) 市域の防災機能を果たし、安心・安全性を確保した庁舎

- ・免震構造を採用し、高い耐震性を確保します。
- ・災害時のライフラインの途絶に対して復旧に必要な3日間の自立機能を確保するよう、震災井戸の設置、電気・空調用発電機を設置します。

### (4) 長寿命で環境にやさしい庁舎

- ・ライトシェルフにより直射日光を遮りながら自然光を導く外装計画とします。
- ・中間期には、スキップ・テラスを自然換気ルートに有効活用し、快適な室内環境を実現します。
- ・太陽光発電パネル、屋上緑化、雨水利用等の環境配慮を行います。
- ・外壁にはメンテナンス庇を設け、窓清掃や維持管理が容易な計画とします。



## 2.配置・動線計画

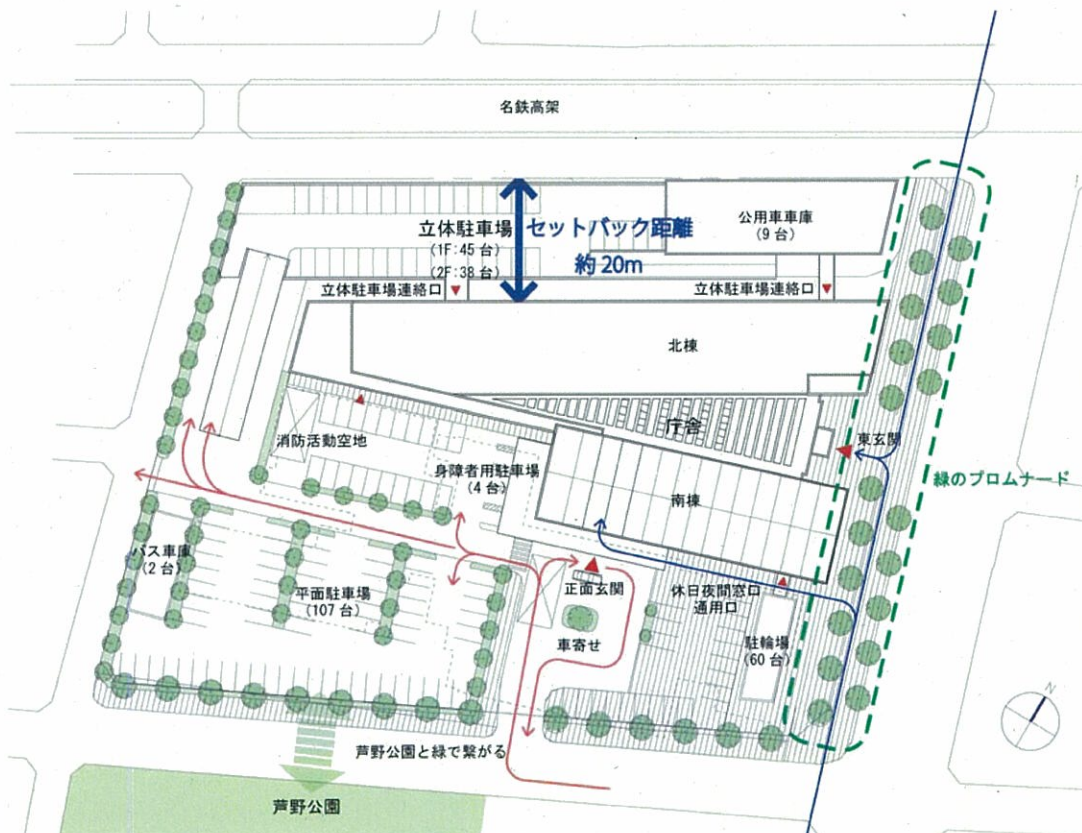
### 2.配置・動線計画

#### (1)配置計画

- ・庁舎南側は、来庁者が利用しやすい平面駐車場(107台、身障者用駐車場4台含む)、駐輪場(60台)として整備します。また、平面駐車場内にバス車庫(2台)、消防用活動空地を確保しながら効率よく植栽を施し、芦野公園と緑でつながる計画とします。
- ・庁舎北側に、北側民地に配慮して低層(1層2段)とした立体駐車場(83台、身障者駐車場2台を含む)を設け、1階部分には、駐輪場(100台)・バイク置場(11台)・サービス車庫・ゴミ置場を、2階部分には公用車車庫(9台)を配置します。これらを庁舎に隣接して配置することで、使いやすく機能的な計画とします。

#### (2)敷地内の動線計画

- ・一般車は敷地南側道路から出入りするため、敷地南東側交差点に信号の設置を要望していきます。
- ・駐車場広場に面する南棟の正面を車寄せとし、大きな庇を設けて、庁舎の正面玄関にふさわしいしつらえとします。
- ・車寄せへの動線と、平面駐車場・立体駐車場への動線は、誰にもわかりやすく安全な計画とします。また、駐車場内は行き止まりのない計画とします。
- ・正面玄関・東玄関へは、歩行者が車動線と交わることなく安全に出入りできる計画とします。
- ・庁舎入口は正面玄関・東玄関の他に、南棟に通用口兼休日夜間出入口、北棟に通用口を設けます。
- ・立体駐車場の1階及び2階レベルから直接庁舎へアクセスできる計画とします。



配置図



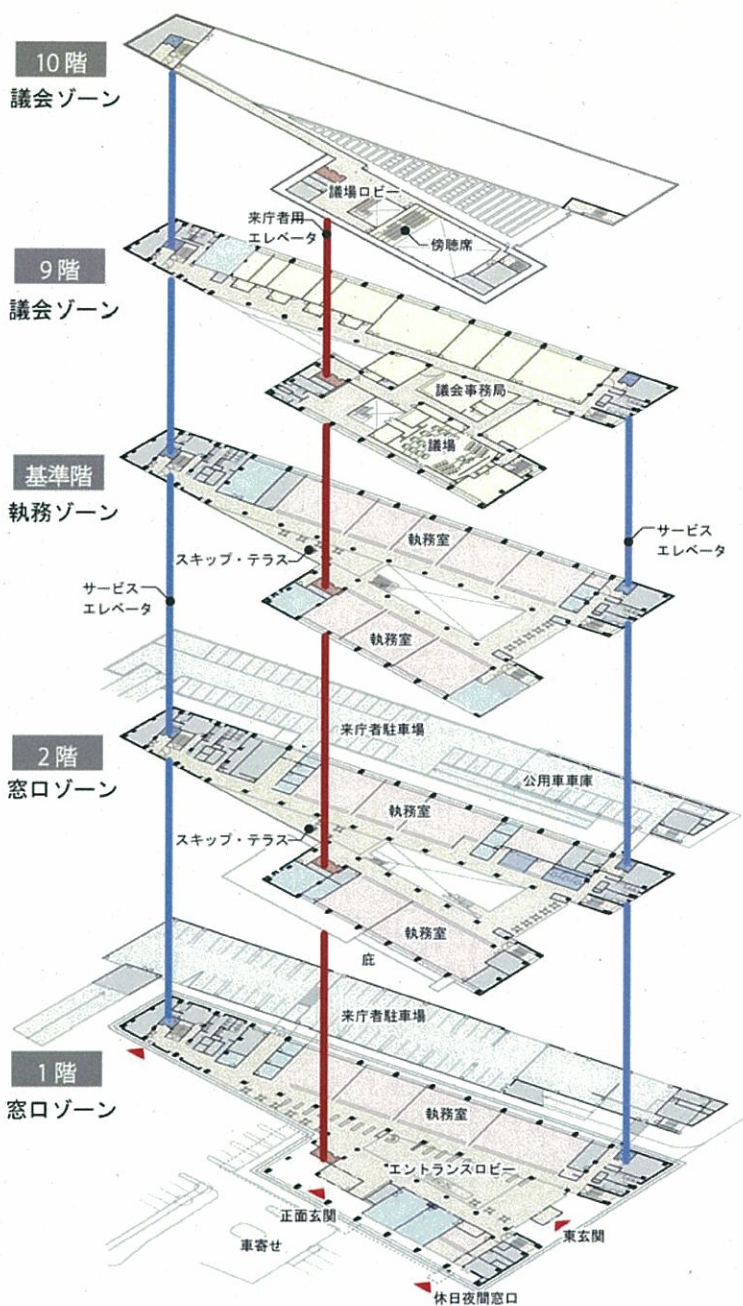
### 3.庁舎の構成

#### (1)ゾーニング計画

- ・市民が訪れる頻度が高い窓口ゾーンを 1・2 階に集約配置して、一目で行き場所がわかる案内性の良いつくりとします。
- ・1 階から 7 階に配置した執務室は、壁のないまとまったオープンフロアとし、天井高さを 3,200mm 確保して明るく開放的な空間とします。
- ・議会関連諸室は 9 階に集約し、効率的な運用ができるようにします。また、議場の傍聴席は最上階の 10 階に設ける計画とします。
- ・執行部関連諸室は 4 階に集約し、日常の執務に関係の深い担当部署を近接して配置します。
- ・執行部と同じフロアに防災会議室を設けて、防災拠点としての機能を果たします。

#### (2)庁舎内の動線計画

- ・各階の動線は、スキップ・テラスに沿って回遊することができる分かりやすい計画とします。
- ・1・2 階の窓口ゾーンにはエスカレータを設置し、また隣接する立体駐車場からも直接連絡できるようにして、市民が容易にアクセスできる計画とします。
- ・上下階のスキップ・テラスをつなぐ階段を設置して、上下階のつながりを持たせた計画とします。
- ・主に市民が利用するエレベータを建物中央にあたる南棟の西端に 2 台設置します。またサービスエレベータは北棟の両端部に 1 台ずつ設置します。
- ・南棟・北棟の端部に階段を設置し、非常時にも安全に避難できる計画とします。



ゾーニング図

## 4.バリアフリー計画

### ～ユニバーサルデザインの庁舎～

- ・身障者用駐車場には庇を設け、正面玄関近くに配置します。
- ・誰でも目的地がわかる、明快な平面計画とします。
- ・外国語併記や絵文字の使用など、誰にもわかりやすいサイン計画とします。
- ・玄関周りはもちろんのこと、建物内外に段差のない計画とします。
- ・男女それぞれのトイレに介護者が付き添える大きめのブースを設置します。  
また、男女とも誰もが利用できる多目的トイレも併せて設置します。
- ・エレベータは音声と電光表示で行き先の階がわかるようにし、電動車椅子でも利用しやすい大きさとします。
- ・突発的な傷病者の移送がしやすいようにストレッチャーが昇降できるエレベータを設けます。

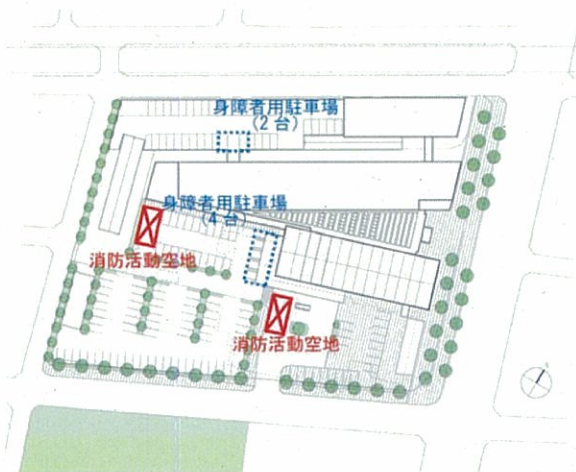
## 5.防災計画

### (1) 配置上の防災計画

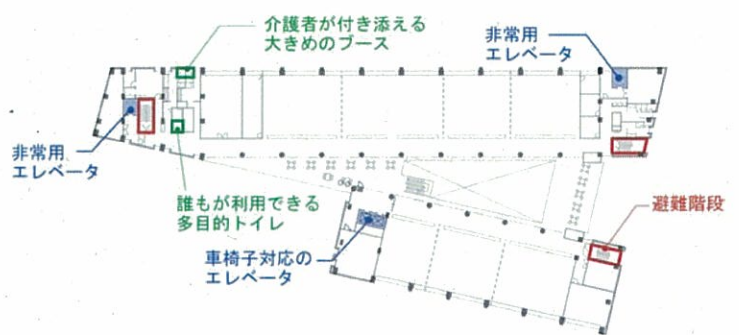
- ・想定される大地震に対して建物がほとんど無被害で確実に防災拠点としての機能を果たす免震構造とします。
- ・災害発生時にライフラインの途絶に対して3日間の機能自立期間を確保するよう、震災井戸、電気・空調用発電機を設置します。
- ・中圧ガス管によるガス供給をガス事業者に要望していきます。
- ・消防活動空地は十分なスペースを確保し、火災時の消防活動がより迅速に行えるようにします。

### (2) 平面上の防災計画

- ・防災拠点として機能する防災会議室は、執行部ゾーンに隣接させて、情報・指示がスムーズに行き渡るようにします。
- ・日常使用する動線と避難動線を一致させ、災害時にも余裕を持って避難できるようにします。
- ・避難する方向には窓を設け、避難の際にも明るく安全に避難できる計画とします。
- ・南棟・北棟の端部に避難階段をバランスよく設置します。
- ・北棟の両端部に分散して、非常用エレベータを設置します。



配置図



基準階平面図



## 6.環境配慮の方針

市の防災拠点としての信頼性、安全性を確保するとともに、環境に配慮した省エネルギーで維持管理の容易な設備計画とします。

(1)信頼性・安全性の高い設備システムとします。

- ・非常発電機の設置
- ・重要機器への電源系統の二重化
- ・電気とガスの複合熱源方式

(2)光、風、水など自然エネルギーを最大限に有効利用します。

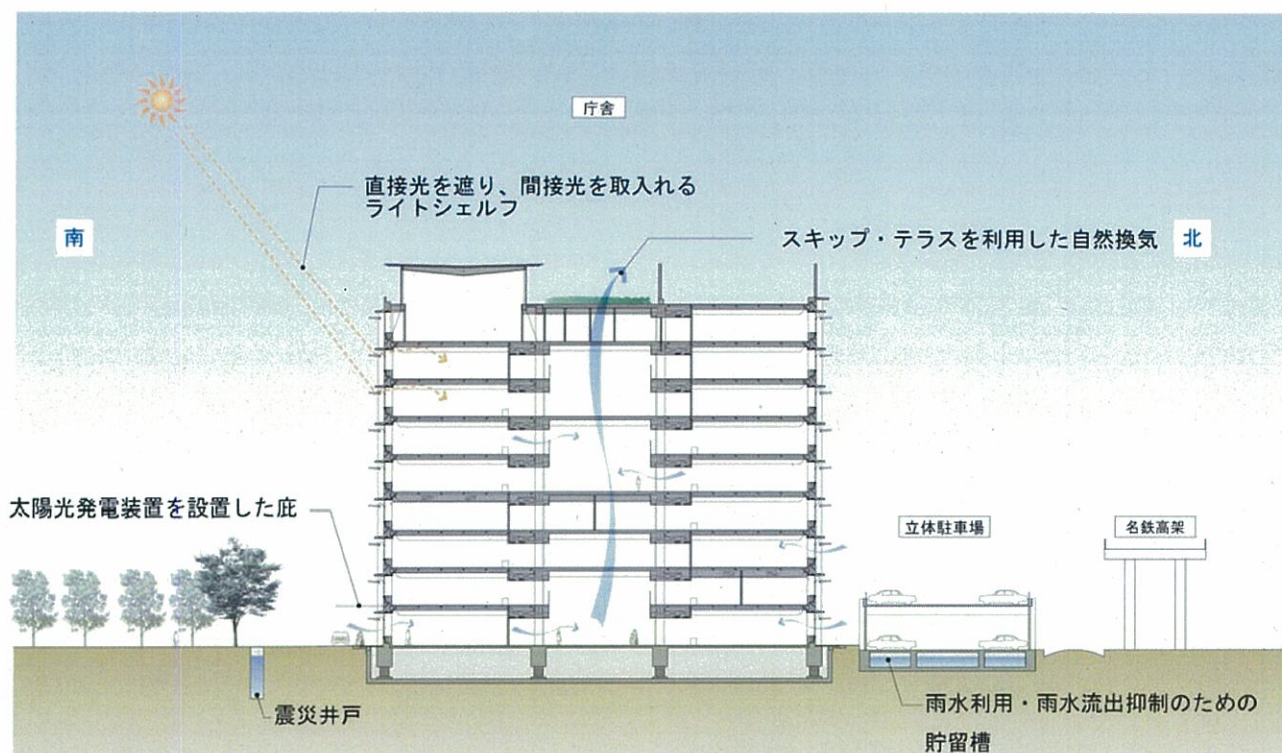
- ・南側正面玄関の庇に設置する太陽光発電装置
- ・スキップ・テラスを利用した自然換気
- ・直射光を遮り間接光を取入れるライトシェルフ

(3)高効率な設備システムを採用します。

- ・氷蓄熱システムの採用
- ・昼光センサー・人感センサーによる照明制御
- ・雨水・井水利用による節水

(4)CASBEE で優れたランクを表す[A]ランクを実現します。

※CASBEE とは、国土交通省住宅局が進められている建築物の環境性能評価システムで、環境配慮への取り組みの度合いをS, A, B+, B-, Cの5段階にラベリングして評価したものです。



## 7.建物概要

### 7.建物概要

建物位置	刈谷市東陽町1丁目1番地
敷地面積	11,652 m <sup>2</sup>
用途地域	商業地域
防火指定	準防火地域
許容容積率	400%
許容建ぺい率	100%(耐火構造、角地緩和/基準 80%)

主要用途	庁舎、立体駐車場
構造	庁舎:鉄骨鉄筋コンクリート造、立体駐車場:鉄筋コンクリート造
階数	庁舎:地上10階、立体駐車場:地上2階
最高高さ	41.9m
駐車台数	来庁者用:190台、公用車:9台、バス:2台、二輪車:11台
駐輪台数	160台
建築面積	庁舎:3,210 m <sup>2</sup> 、立体駐車場:1,928 m <sup>2</sup>
建ぺい率	45%
延床面積	庁舎:25,367 m <sup>2</sup> 、立体駐車場:2,274 m <sup>2</sup>
容積率	238%
基本設計者	株式会社日建設計

